

## 2020年JPAF強化指定選手選考会 実施要綱

主催 日本身体障害者アーチェリー連盟  
主管 強化委員会

★詳細日程、申し込みに関しては2019年10月に発表する

### 1) 選考会出場条件：

- ア) 2019年1月1日～2019年9月29日に行われたWA公認及び全日本アーチェリー連盟公認の記録を持ち、JPAF国内ランキング申請を10回以上行った者
- イ) 国際クラス分けを受けており、競技クラスステータスがConfirmedもしくはReviewであること。  
Reviewの場合は再評価の期日が2020年12月31日以降であること。
- ウ) 2019年6月1日～2020年7月1日の間に各競技クラスの最低出場資格基準(MQS)の条件を満たしていること。

### 2) 対象者

- ア) 2020年JPAF強化指定選手・及びシード選手(2019年世界選手権にて出場枠を獲得した者)
- イ) 国内クラス分け・国際クラス分けカードに記載された用具で出場した全日本アーチェリー連盟公認試合※において、以下の点数を4回達成した者。

※国内クラス分け・国際クラス分けカードを取得する以前の記録は対象外

- ウ) 以下に定める基準点(MQSプラス10点)を4回達成した者

- ・男子W1：600点
- ・男子コンパウンド：660点
- ・男子リカーブ：580点
- ・女子W1：530点
- ・女子コンパウンド：630点
- ・女子リカーブ：540点

### 3) 選考会参加枠(シード選手を除く)：

- ・各カテゴリー3名
- ボーダーの選手が同点の場合は、申請最高点が高い順で選考する。

### 4) 選考方法：

- ア) 50m・70mラウンドを2回実施し、144射の合計点で順位を決定する
  - イ) 選考会において、144射の合計点が以下の選考基準点をクリアした者を2020年JPAF強化選手とする
- ・男子W1：1200点

- ・男子コンパウンド：1320点
- ・男子リカーブ：1160点
- ・女子W1：1060点
- ・女子コンパウンド：1260点
- ・女子リカーブ：1080点

ウ) 選考会において、72射の合計（ラウンドごと）が以下の点数を記録し、144射の合計がイ)の基準点をクリアした者を2020年JPAF強化選手兼2020東京パラリンピック強化指定選手とする。

- ・男子W1：636点
- ・男子コンパウンド：685点
- ・男子リカーブ：622点
- ・女子W1：580点
- ・女子コンパウンド：675点
- ・女子リカーブ：593点

エ) 2020年JPAF強化指定シード選手を2020年JPAF強化指定選手兼2020年東京パラリンピック強化指定選手とする

5) 選考会選考枠（シード選手除く）：国内ランキング（パラ対象）上位者より選考する。

- ・男子W1：2名
- ・男子コンパウンド：3名
- ・男子リカーブ：3名
- ・女子W1：2名
- ・女子コンパウンド：2名
- ・女子リカーブ：2名

※選考人数最終位が同点の場合は、1射シュートオフを実施する。

2018年11月10日 作成

2019年 5月29日 修正

## 2020 東京パラリンピック最終選考会 実施要綱

主 催 日本身体障害者アーチェリー連盟

主 管 強化委員会

★詳細の日程及び申し込みに関しては 2020 年 2 月に発表する。

### 1) 2020 東京パラリンピック最終選考会参加対象選手

以下の順により最終選考会参加者を決定する

- ア) 2020 年 JPAF 強化指定シード選手
- イ) 2020 年東京パラリンピック強化指定選手
- ウ) 2020 年 JPAF 強化指定選手

### 2) 2020 東京パラリンピック最終選考会参加人数枠

各カテゴリー定員を 4 名とする。定員を超えた場合は 2020 年 JPAF 強化指定選手選考会での得点上位者とする。

### 3) 選考委員会選考方法

- ア) 50m・70m ラウンドを 4 回実施し、288 射の合計点で推薦順位を決定する
- イ) JPC に与えられた枠数に応じて、内定者を除く順位が高い者から推薦する。
- ウ) 選考する人数最終位が同点の場合は、1 射シュートオフを実施する

### 4) その他特記事項

2018 年 11 月 10 日 作成

2019 年 5 月 29 日 修正